

8月のトピックス

- ・今年もくろまつが小浜線に
- ・小浜線無人化が進むことに



今年もくろまつが小浜線に

昨年小浜線を走った臨時くろまつが、今年も小浜線を走行する。

北陸新幹線は、2023年3月に敦賀まで延伸される。嶺南地方の広域観光促進を目的とし、昨年は西舞鶴―敦賀間を2日限定で走った。

今年も区間が天橋立―敦賀間に伸ばされ、また、運行日も10月2日から4日まで3日間伸ばされる。

車内では、食事も提供され、車窓から見える日本海や緑を見ながら、食事を楽しめる。期間限定の観光臨時列車としては、人気が高い。

くろまつは、京都丹後鉄道（KTR）の臨時列車だ。通常はKTR線内でのみ運行されているが、JR西日本の協力ののもと運行が実現する。

8月上旬には、運行に備え、試運転が行われた。昨年の運行では、DE10形機関車が牽引し運転された。

の運転であった。沿線各地で、今年もくろまつが小浜線に、小浜線無人化が進むことに

KTR公式サイトの詳細は、



↑昨年の運行時

小浜線無人化が進むことに

24日、JR西日本金沢支社は、小浜線を含む北陸エリアの福井県内の駅について、2030年度までに無人化する内容を発表した。

今回新たに無人化される駅は、小浜線の美浜、三方、大鳥羽、上中、東小浜、加斗、若狭本郷、若狭和田、若狭高浜、青郷の10駅と、九頭竜線の九頭竜湖駅である。

小浜線では、現在はJR直営の駅が敦賀、小浜、東舞鶴の3駅であるが、その他の駅では、沿線自治体の委託業務による切符の販売等が行われている。（完全無人駅は除く）

今回発表された無人化が行われれば、これまで駅精算扱がとられていた駅も、車内精算扱いとされる。

小浜線を含む地方路線の過疎化は、少子高齢化による利用客の減少が原因である。かつては多くの利用客で賑やかだった小浜線も、また一つ寂しくなる。